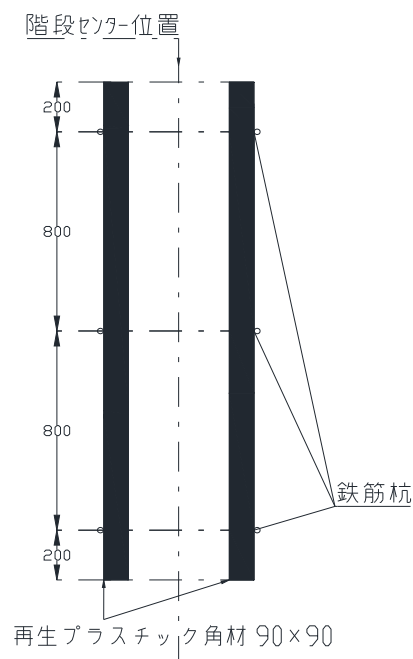
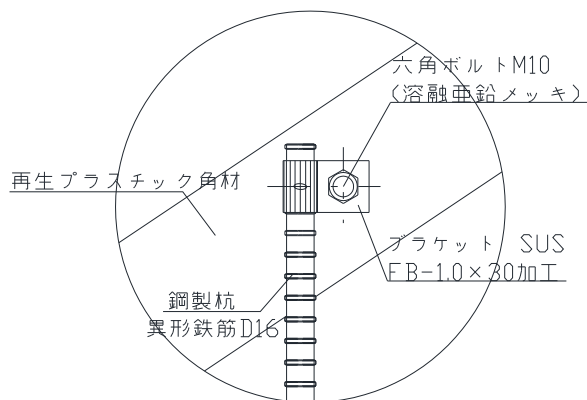


# リバーザー・ステップ

## フラットでなく硬い地山取付施工要領

1. 設置面に水糸を張り、設置ルートと設置レベルを設定する。
2. 角材 90×90×2,000mm が 2 本平行に取り付けられるように

設置ルートに鉄筋杭  
を固定し（鉄筋杭の  
取付間隔は 800mm  
以内）、角材に鉄筋杭  
の位置に合わせた穴  
を電動ドリル（金工  
用刃）で明ける。



ボルト（鉄筋杭が

D16 の時は 120L, それ以上の場合は 140L を使用) とブラケットを

コーススレッドまたはスクリーナー釘65L  
階段本体同士を接合

ステップ 1 段目は 5° 上の本体を使用  
(例: 斜度 25° の時 30° 用)

コーススレッドまたは  
スクリーナー釘90L  
角材と階段本体の接合に使用

GL

〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘 3-5

JSEフォーラム多摩 5-105

新東化成株式会社

TEL 042-374-6388 FAX 042-338-1875

e-mail : saisei@shintokasei.jp

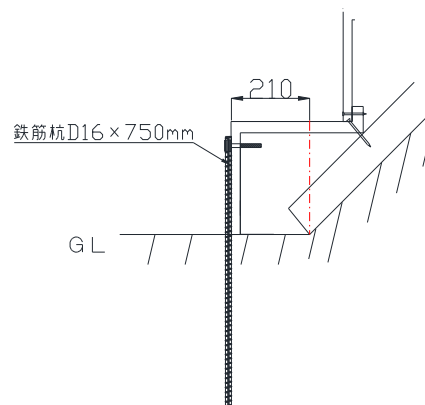
# リバーザー・ステップ

## フラットでなく硬い地山取付施工要領

使い鉄筋杭と角材を固定する。鉄筋杭の溝が切られていない部分が  
ブラケットのノッチ（凹み部）と重なるとしっかり締め付けること  
ができないので、溝とノッチの向きに注意する。

3. ステップ本体の取付は下の段から行い、最初の1段目は  
斜面角度のプラス5度のステップ本体を取り付ける。（地盤  
傾斜が45度と50度の時は、1段目を斜面下方向に21cm  
程度ずらして取り付ける。）

ステップ本体同士の固定はコーススレッドかスクリュー釘  
65mmを使い、ステップ本体と角材90×90×2000mmはコ  
ーススレッドかスクリュー釘90mmを使う。



階段本体同士の接合には、450巾600巾の階段本体の場合1

段当たり3本の65mmのコーススレッドかスクリュー釘、750巾の場合は4本、1000  
巾の場合は5本を使用する。

階段本体を角材に接合する90mmのコーススレッドまたはスクリュー釘は1000巾の場  
合階段1段当たり6本、450巾600巾750巾では1段当たり4本を使用する。

スクリュー釘は打ち込みにくいいため、電気ドリルで深さ10～15mm程度の下穴を明けて  
から打ち込む。入りづらい場合はコーススレッドビスを使用する。

4. ステップ本体2段目からは傾斜角度用の物を必要な段数分、取り付けていく。
5. のり面を斜行する等で、左右方向にも高低差が出る場合、谷側の鉄筋杭の本数や長さ  
を変える必要があります。

〒206-0031 東京都多摩市豊ヶ丘3-5

JSEフォーラム多摩5-105

新東化成株式会社

TEL 042-374-6388 FAX 042-338-1875

e-mail : saisei@shintokasei.jp